

BELIEVE

3学年だよ!

伊達中学校 第3学年通信
 令和元年 9月6日(金)
 【3学年重点目標】
 ①文部両道(希望進路の実現)
 ②克己心(自分に厳しく周りに優しく)
 ③伊達中愛(最上級生としての誇り)
 第18号 文責 松本 竜也

第19週 2019年 9月9日(月)～9月13日(金)

県北駅伝大会で3年生力走!

9月5日(水)県北地区中体連駅伝競走大会が、あづま総合運動公園で行われました。福島・安達・伊達支部の女子38チーム、男子39チームが男女ともに上位6校に与えられる県大会出場権獲得を目指し、チーム全員の思いを込めたタスキをつなぎました。本校は、女子18位(昨年度は20位)、男子24位(昨年度は10位)という結果でした。区間賞を獲得した選手はいませんが、多数の選手が各自の試走区間記録を更新する快走でした。夏休みの早朝練習から2学期の放課後練習まで、酷暑の中、厳しい練習を積み重ね大会に参加した3年生特設駅伝部員10名のみなさん、本当にお疲れ様でした。また、沿道で熱い声援を送ってくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



県北駅伝大会の感想

◆私は、初めて駅伝部へ入部しました。夏休みの始めの1週間は、なかなかとけこめずにいました。しかし、駅伝はチーム競技だと知り、自分から積極的に話しかけていきました。すると、絆が生まれ、練習にも本気で取り組めるようになりました。

そして、大会当日。「ここまで頑張ってきたんだ」という自信を持って一生懸命走りました。走っている時はつらかったけれど、先生方や仲間等の声援によってタスキをつなげることができました。応援していただいたみなさん本当にありがとうございました。(鴨田 結衣)

◆今回、私は、2kmの4区を走りました。去年も3区で2kmを走り、来年の駅伝で悔しさを晴らすという目標を立てていました。しかし、夏休みの中盤を過ぎたあたりから、右の内ももが痛むようになりました。「呼吸は楽なのに足が動かない」という精神的にも辛く、苦しい期間が続きました。でも、メンバーの走っている姿を見ると、自分も頑張らなきゃいけないと思えるようになり、本番に向かって練習を続けました。結果は総合18位で、去年より2位順位を上げることができました。しかし、区間順位もタイムも納得のいくものではありませんでした。4ヵ月後にある私立受験に向けて勉強に取り組みたいです。応援ありがとうございました。(霜山 千聖)

◆今回、私は、去年と同じく5区を走りました。今年からコースが少し変わり、競技場の中を少し走らないといけなかったのが、嫌だなと思っていました。走る直前までとても緊張していて、体が動くか不安でした。しかし、力を最大限出し切ることができ、自己ベストだったので良かったです。また、区間6位、総合順位18位と去年より順位が上がったのでうれしかったです。そして、1本のタスキをみんなでつなぐことができたので良かったです。中学校最後の駅伝は、悔いなく走れたので良かったです。(佐藤 瑞稀)

給食当番は2班①です。

月日(曜)	朝	1	2	3	4	5	6
9/9(月)	整理と研究	月1	月2	月3	月4	月5	月6
		□Ⅱ期時間割開始 □整研「国語23」提出					
9/10(火)	整理と研究	火1	火2	火3	火4	火5	火6
		□整研「数学23」提出					
9/11(水)	整理と研究	水1	水2	水3	水4	水5	総合
		□整研「英語23」提出 □中間テスト計画表作成(6校時) □清掃・部活なし □生徒会専門委員会 □支部中体連新人戦抽選会					
9/12(木)	整理と研究	木1	木2	木3	木4	木5	木6
		□整研「理科23」提出 □伊達地区小中学校音楽祭(1・2年吹奏楽部員出演)					
9/13(金)	整理と研究	金1	金2	金3	金4	生徒会立会演説会	
		□整研「社会23」提出 □生徒会立会演説会・投票(5・6校時) □帰りの学活(13:35~45) □清掃なし					

伊達中女子(18位)

- ◆1区…前田 愛咲弘(2-3)
- ◆2区…松崎 滯音(2-3)
- ◆3区…鴨田 結衣(3-3)
- ◆4区…霜山 千聖(3-3)
- ◆5区…佐藤 瑞稀(3-1)

伊達中男子(24位)

- ◆1区…佐藤 和(3-3)
- ◆2区…佐藤 望聖(3-2)
- ◆3区…木村 武蔵(3-3)
- ◆4区…松浦 凜大(3-1)
- ◆5区…齋藤 和希(3-1)
- ◆6区…庄子 勇輝(3-1)

県北地区中体連駅伝大会の感想

◆僕は今年、駅伝大会3年目なのですが、さすがに1区と言われた時は緊張しました。今までは5区や3区だったので、ほぼ個人との勝負でした。しかし、今回は1区ということで39人との勝負でした。スタートした時、2列目の端から2番目というものすごくいい位置だったのに、それを活かさず後ろの方になってしまいました。ものすごく緊張していて足がうまく回らず、前に行くことができなかったのですが、応援のおかげで緊張がほぐれ、うまく走ることができました。そして、10分22秒で区間15位、全体では24位という結果を残すことができました。20位より後ろだったのが少し悔しかったのですが、みんなで走れてうれしかったです。今まで指導して下さった先生方、ありがとうございました。(佐藤 和)

◆僕は、2区を走りました。1・2年の時も駅伝部に選ばれましたが、走ることができなく初めて走りました。すごく緊張しましたが、みんなの応援があり走りやすかったです。走っている時、足が痛くなりましたが、「みんなのために」と思い最後まで走り切ることができました。すごくいい思い出になりました。(佐藤 望亜)

◆この県北中体連駅伝大会に参加して、自分の体力も向上できたし、友達同士の交流がよくあったので仲が深まったのも良かったと思います。大会までの練習は、きつい練習が多くあって、周りにもついていけないぐらいでした。これではだめだと思い、少しずつ家でも走るようにしたら、ついていけるようになりました。うれしかったです。大会本番、ちゃんと走り切れるか不安で、すごく緊張していました。しかし、走り始めてからはすごく一瞬でした。タイムは自己ベストでしたが、順位が落ちてしまったので悔しかったです。この経験を受験にも生かしていきたいです。(木村 武蔵)

◆僕は昨年走ることができませんでしたが、今年は4区を走りました。みんなの応援が力となり、5区のと希君タスキを繋ぐことができましたが、自己ベストを出すことができなく悔しかったです。この悔しさを受験勉強に生かしたいです。(松浦 凜大)

◆僕は正直、駅伝の候補選手に選ばれるとは思っていませんでした。そのため、朝、松本先生に声をかけられた時は驚きました。でも、選ばれた人の中で一番と言ってもいいほど僕は遅かったので、全く自信がありませんでした。練習に参加してみたら、みんなランニングシューズを持っていて、「えっ、ガチやん」と思いました。僕は、今まで走る練習をしたことがなかったので、伸び代はあるだろうからいっぱい練習すればみんなと同じくらい速くなれると思いました。そして、休みの日や暇な時にサイクリングロードをたくさん走って体力をつける練習をしたので、駅伝選手に選ばれました。本番の日、僕は5区を走ったのですが、6区の庄子君にタスキを渡す時に、本当は両手でタスキを伸ばして渡すのですが、片手でタスキを丸めて渡してしまいました。でも、そのことを除けば、自分の走りのできたのでよかったです。(齋藤 和希)

◆僕は、駅伝で6区を走りました。夏休みから駅伝の練習をしていて、苦しい練習をたくさんしました。本番では、自己ベストは出なかったですが、最後まであきらめずに自分の走りできてよかったです。(庄子 勇輝)

◇フォトギャラリー(9/4県北地区中体連駅伝大会より)

